

レベル4 訓練評価シート 年度 ( )

※こちらは未記入

本人	評価者	(どちらかに丸を記入)						点数
合計点数		評価ランク	A B C (A:100~80 B:79~55 C:54~0)					
氏名		経験年数		経験年数		入社年月日		勤続年数
		評価期間	年 月 ~ 年 月					
保有資格								

16、プレゼンテーション

3:常にできている 2:だいたいできている 1:不足している

区分	項目	本人			上級 評価	備考
		3	2	1		
表現力	文書作成を組織活動の基本と捉え、文書作成の技術を身につけている					
	正確で簡潔、明解な表現に努めている					
企画力	積極的に提案し、利用者のサービス改善や革新に取り組んでいる					
	問題意識の共有化を図り、意見の交換を行っている					
実行実現	利用者のサービス改善を通じ、自己実現につなげている					
	職員の意見を否定批判したり、思考の範囲を限定していない					

17、基礎医療知識

知識	業務遂行にあたり、医療行為かどうかを適切に判断できる					
	基礎医療時間を学び、利用者の変化に、素早く対応できる					
理解	利用者の状態や疾患を理解できる					
	介護職員として医療的処置を理解することができる					
実践	看護師の管理のもと、疾患の予防、悪化防止が行える					
	医療、看護との連携を図り、適切な対応が出きる。					

18、教育指導

能力開発	職場における能力開発の意義を理解している					
	職員の目標を把握し、職員と十分なコミュニケーションを図っている					
指導育成	職場研修を主導的に推進し、職員の能力向上についての工夫が提案できる					
	職員の資格取得に関して、技術的な支援を行っている					
専門性	職員の実務的な・技能について、評価と確認が行えている					
	職員の指導に関して、上司と話し合いの機会を作っている					

19、制度理解

倫理	利用者の威厳の保持について、理解に努めている					
	ノーマライゼーションの理念について、実現努力を行っている					
権利	職員が守るべき倫理、法令等を理解している					
	拘束や抑制について指導し、誤解されるような行為をさせてはいけない					
情報開示	サービスの提供記録が適切に記録されるよう、職員に指導している					
	介護の内容について、利用者等からの説明要求には適切に行えている					

20、チームマネジメント

職員管理	職員の勤務態度について、十分な指導と話し合いの場が提供されている					
	利用者及び職員の意見に耳を傾け、職員管理に役立てている					
意思統一	チームにとっての目標を設定し、実現に向けた取り組みを行っている					
	全員が自分の仕事や目標を自覚し、意思統一が図られている					
対人管理	働きやすい職場環境が提供できるよう、工夫している					
	職員の対立や葛藤に対し、未然解決を図れるよう、気を配っている					

レベル3 訓練評価シート 年度 ( )

※こちらは未記入  
点数

本人	評価者	(どちらかに丸を記入)					
合計点数		評価ランク	A B C (A:100~80 B:79~55 C:54~0)				
氏名	経験年数		経験年数		入社年月日		勤続年数
	評価期間	年 月 ~ 年 月					
保有資格							

11、問題発見

3:常にできている 2:だいたいできている 1:不足している

区分	項目	評価点数			上級 評価	備考
		3	2	1		
洞察力	あるべき姿を設定し、将来問題を発見することができる ルーティン業務について、問題の兆候や傾向に着目している					
課題形成	処理すべき課題と、チャレンジする課題が理解できる 担当業務を自律的に処理し、自ら課題を発見することができる					
自発性	問題を共有し、当事者の意識を持って積極的に関与している サービスの改善や業務の見直しについて自発的な提案を行っている					

12、解決改善

プロセス形成	業務標準のサイクルを理解している 取り組むべき課題を具体的に構想し、改善方法の工夫を行っている。					
目的意識	利用者第一を念頭に、あるべき姿を発想している マニュアルは、担当業務を通して、常に評価と確認を意識している。					
協働性	解決のプロセスを活かし、組織活動の相乗効果を高めている チームの中で、問題解決を主導的に推進できる					

13、業務遂行

責任制	メンバーシップ(組織一員としての責任行動)を理解している 介護業務に必要な知識・技能について精通しているか					
自己開発	経験により求められる能力が違うことを理解している 自己開発、習得課題について、実践的な取り組みを行っている					
能力	自分に与えられた役割を理解している キャリア段階に応じたスキルを理解している					

14、技術指導

習得準備	職員の指導は、これから何の仕事を行うか説明し、習得意欲を与えている 相手の知識程度を把握し、理解する能力以上の指導は行っていない					
率先垂範	自分が手本となり、率先垂範を実践している 管理のもとに実践させ、理解と技術に曖昧な点がないか確認している					
育成姿勢	職員の自主性を尊重し、創造性の発揮できる機会を与えている 職員及び自分自身について、指導目標を設定している					

15、リーダーシップ

傾聴説得	職員の立場になって傾聴し、相手が理解できるよう十分に説明している 職員の熟練度に合わせた対応を行っている					
討議	職員のモチベーションが高まるよう、上司と話し合いの機会を作っている コミュニケーションルートを確立し、意見交換の場を準備している					
共感	相互援助と協力体制について、主導的に取り組んでいる 職員からの課題提起は先送りせず、期待に応える努力を表現している					

/ 90

※こちらは未記入  
点数

本人 評価者	(どちらかに丸を記入)						
合計点数		評価ランク	A B C (A:100~80 B:79~55 C:54~0)				
氏名		経験年数		経験年数		入社年月日	勤続年数
		評価期間	年 月 ~ 年 月				
保有資格							

6、サービスマナー 3:常にできている 2:だいたいできている 1:不足している

区分	項目	評価点数			上級 評価	備考
		3	2	1		
環境整備	利用者が常に快適に過ごせるように、整理整頓を心掛けている					
	利用者の私物は丁寧に扱い、適切に管理している					
対応	利用者からの依頼に対しては、待たせることなく素早く対応している					
	不愉快な印象を与えるような言動はしていない					
価値	常に気配りをし、先手の声掛けや行動を心掛けている					
	おしむことのないサービス精神で業務にあたっている					

7、介護知識

姿勢	思い込みや、思い入れの過ぎない姿勢で研鑽している					
	自己流の解釈をしていない					
向上	基礎的な介護知識を向上させる努力を行っている					
	習得した知識が、介護業務に役立てられている					
啓発	新しい情報を収集し、疑問があれば先輩の指導を仰いでいる					
	職員と情報交換を行い、相互啓発の機会を作り出している。					

8、日常援助技術

清潔保持	全てを行わず、利用者のADLに適した援助を行っている					
	常に快適を保ち、快適な生活を支援している					
掃除洗濯	利用者の衣類を紛失したり、傷めたりしていない					
	汚れや匂いに、気を配っている					
更衣	日常更衣に気を配り、昼夜区別、気分転換、意欲向上を意識している					
	利用者のADLに合わせて着脱方法を工夫している					

9、基礎介護技術

食事	利用者へ声掛けを行い、食欲を与えている					
	生活活動の基礎と知り、安全で楽しい食事の時間を提供している					
排泄	利用者の生活のリズムを把握し、ADLに合わせた、適切な対応を行っている					
	ケアは精神的負担をかけないよう素早く行い、適切な処理をしている					
入浴	入浴の目的を理解し、安全で快適な入浴サービスを行っている					
	身体の観察と保清を行い、プライバシーに配慮した工夫を行っている					

10、自己表現

受容と共感	利用者を承認し、個性を活かすような援助を行っている					
	受容と共感を意識し、精神的な援助を行っている					
表現	利用者の活動的意欲が現れるような工夫を行っている					
	認知症を理解し、自己表現の場を提供している					
協調	アサーティブな自己表現(自分も相手も大切にしたい表現)に努めている					
	職員との相互理解に努め、信頼関係を築いている					

レベル1 訓練評価シート		年度 ( )	※こちらは未記入				評価		
本人	評価者	(どちらかに丸を記入)	レベル	1	2	3	4	合計	平均
合計点数	評価ランク	A B C (A:100~80 B:79~55 C:54~0)							
氏名	経験年数	経験年数	入社年月日	勤続年数					
保有資格	評価期間	年 月 ~ 年 月							

1、ビジネスマナー

3:常にできている 2:だいたいできている 1:不足している

区分	項目	評価点数			上級評価	備考
		3	2	1		
接遇	目と目を合わせて、気持ちの良い挨拶を行っている					
	信頼関係が築かれた利用者に対しても、礼儀正しく接している					
風紀	身嗜みは、機能的で清潔、控えめになっている					
	誹謗・中傷はしていない					
行動	否定的にならず、指示されたことは確実に実行している					
	誤解されるような言動や、不愉快な態度はしていない					

2、傾聴

協調性	利用者の気持ちに共感するような態度で耳を傾けている					
	利用者との信頼関係を築く努力を行っている。					
理解	利用者への受容を意識し、理解に努めている。					
	親身になってケアを行い、利用者へ感動を与えている					
敬意	礼儀正しく接し、利用者の尊厳を念頭に対応している					
	利用者について詮索したり、部外者に話を漏らしてはいけない					

3、観察

観察力	利用者の表情や行動を読み取ることができる					
	利用者の嗜好を理解し、満足のいくサービスを提供している					
技術	利用者の表情や行動を読み取ることができる					
	利用者の変化について、常に気を配っている					
報告	利用者についての申し送りを正確に伝えているか					
	記録は端的に、漏れなく行われている					

4、コミュニケーション

信頼関係	利用者の言動を否定するようなことはしてはけない					
	利用者へ誤解されるようなことは行っていない					
積極性	利用者とのコミュニケーションは、言語だけに頼っていない					
	利用者の求めることを的確に把握し、行動している					
創意工夫	コミュニケーションが取れない利用者に対し、創意工夫している					
	途中で投げ出すことなく、利用者の理解に努めている					

5、自己管理

倫理	公私の区別をきちんとつけて、介護業務にあたっている					
	時間厳守、期日厳守を実践している					
意識	法人の方針を理解し、目的を持って業務にあたっている					
	法令や、慣行などを遵守し、規律ある行動をとっている					
成果	チームケアの中で、自分がいま、何をすべきか理解できている					
	指示に対し、遂行までの見通しを立てて、業務を行っている					
					/	90

年度目標	達成度			
	A	B	C	D